

夢洲における大阪・関西万博の工事着手までに 行われる大阪港湾局の工事による環境損壊を 不当とする住民監査請求書

2022年4月22日

陳述資料



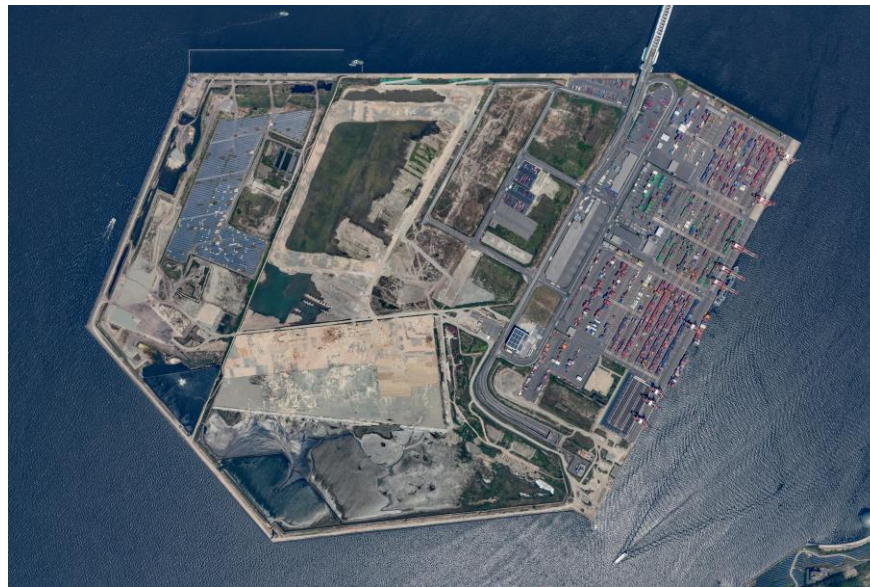
ネイチャーおおさか

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

夢洲について

「**大阪・関西万博**」は、大阪北港の**夢洲**（ゆめしま）で、2025年に開催される事で進められています。

この場所は、埋立地ですが、廃棄物や浚渫土砂の埋立てが緩やかに進められていた事から、**草地、淡水池、塩性湿地等の色々な環境が形成**されて、大阪府によって、南港の野鳥園と共に「**生物多様性ホットスポット**」に指定されています。



しかし、万博の誘致が決まって以降、埋立てが加速されて、万博に備えられています。

夢洲は生物多様性ホットスポット



大阪の生物多様性ホットスポット
- 多様な生き物たちに会える場所 -



8 南港野鳥園・夢洲

ホットスポットAランク 全体地図 ②①

哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	汽水・淡水魚	昆虫類	クモ類
陸産貝類	淡水産貝類	海岸生物	その他淡水産無脊椎動物	維管束植物	コケ植物	菌類

ヨシ原	ワンド	アマモ	ブナ林	モミツガ	シイ・カシ	アカマツ林	ナラ林	賀茂繁湿地	堤体草地
水田群	干潟	砂浜	棚田	ため池群	河川・源流部	河川・砂礫地	岩礁性海岸	洞穴	代替緑地

周辺の施設など
・野鳥園臨港緑地
(もと大阪南港野鳥園)

隣接する駐車場とともに、利用時間は午前9時から午後5時まで
毎週水曜日(祝日は利用可能)と年末年始(12月28日から1月4日)は閉館
以前は、レンジャーが常駐して野鳥のガイドをしていたが、2014年4月以降、職員は常駐していない代わりに2015年6月からは、日曜日を中心に市民ボランティアが来場者に野鳥のガイドを行っている
☎ 06-6615-7754 (大阪市港湾局)
URL:
<http://www.osaka-nankou-bird-sanctuary.com>

古くから大阪市の湾岸部は埋め立てが進められてきたが、1970年代に急速に埋め立てが進んだ中、大阪市住之江区の南港埋立地に広大な干潟状の水たまりが広がり、多数のシギ・チドリ類が見られるようになって、バードウォッチャーでにぎわうようになった。しかし、埋立地はやがて整備が進み、シギ・チドリ類の渡来地は失われる。そこで、野鳥の渡来地を残す市民運動が起こり、その結果、1983年に残された埋立地に大阪南港野鳥園が開園した。開園当初は、干潟と裸地が広がっていたが、その後、ヨシ原が広がって現在に至っている。



野鳥園臨港緑地(もと大阪南港野鳥園)



コアシサン(植山雅仁撮影)

大阪市此花区の夢洲は、舞洲の南西、大阪北港の一角を占める。その東側はコンテナ埠頭として整備が終わっているが、西側には広大な裸地や草地、水たまりが広がっている。裸地はコアシサン(府・I類)などのアジサシ類や、シロチドリ(府・II類)の繁殖地となっており、水たまりはカモ類など水鳥が多数集まり、周囲にはシギ・チドリ類も見られる。



トウネン(植山雅仁撮影)



アカアシシギ(植山雅仁撮影)



アカアシシギ(植山雅仁撮影)



アクセス:野鳥園臨港緑地(もと大阪南港野鳥園)へはニュートラム南港ポートタウン線「トレードセンター前駅」から徒歩。車は阪神高速湾岸線や咲洲トンネルを利用。

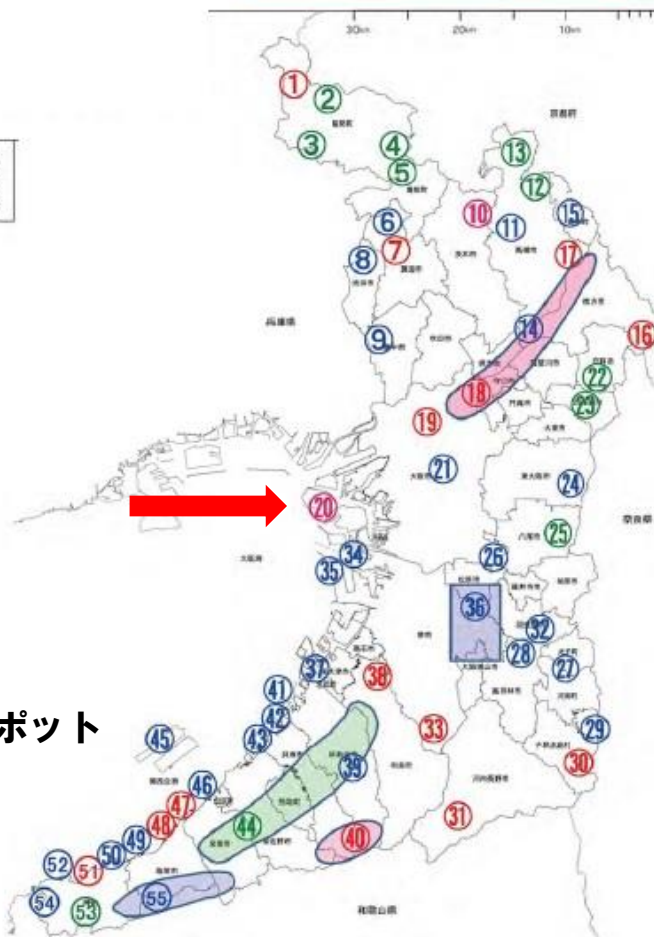
地図は地理院地図、電子国土Web(<http://maps.gsi.go.jp/>)を元に大阪府立大学で作成

出典「大阪府レッドリスト2014」

夢洲は生物多様性ホットスポット（Aランク16か所のひとつ）

大阪府内の生物多様性ホット

○Aランク：16か所
○Bランク：11か所
○Cランク：28か所



生物多様性ホットスポット

Aランク：16か所

Bランク：11か所

Cランク：28か所

合計 55か所

Aランク		
1	能勢町天王・上山辺	能勢町
7	箕面公園	箕面市
10	竜王山周辺（車作、忍頂寺、下音羽、清阪、長谷、銭原）・安威川上流部	茨木市
16	穂谷・尊延寺	枚方市
17	淀川鶴殿	高槻市
18	淀川ワンド群（城北・庭窪・楠葉など）	大阪市・守口市・寝屋川市・枚方市・高槻市
19	淀川汽水域	大阪市
20	南港野鳥園・夢洲	大阪市
30	金剛山	千早赤阪村
31	天見、岩湧山、滝畑、槇尾山	河内長野市・和泉市
33	鉢ヶ峯寺、豊田、別所、金剛寺	堺市・河内長野市
38	信太山丘陵	和泉市
40	和泉葛城山 （牛滝、塔原、蕎原、荻谷、馬場、犬鳴）	岸和田市・貝塚市・泉佐野市
47	男里川河口	泉南市・阪南市
48	泉南地域の砂浜	阪南市・岬町
51	長松・小島海岸	岬町

出典「大阪府レッドリスト2014」

ネイチャーおおさかの対応状況

「大阪自然環境保全協会」（ネイチャーおおさか）では、**2019年から夢洲の生きもの調査を開始**して、この貴重な自然環境を保全するための「要望書」を都度、提出して来ていますが、夢洲の埋立ては、過去の「公有水面埋立て許可」に基づく適法な行為であるとして、継続されています。

時期	内容	大阪市対応
2022. 04. 07	住民監査請求書	2022. 06. 06回答予定
2022. 03. 11	市長意見・要望書	2022. 04. 20回答予定
2022. 02. 04	生きもの調査継続・願い	2022. 04. 20回答予定
2021. 12. 28	夢洲環境保全・要望書	2022. 02. 16回答
2021. 06. 28	夢洲湿地保全・要望書	2021. 08. 05回答
2020. 11. 27	夢洲湿2区地保全・要望書	2020. 12. 21回答
2020. 02. 02	土砂投入中止・再要望書	2020. 03. 03回答
2019. 12. 06	土砂投入中止・要望書	2020. 01. 22回答
2018. 11. 19	夢洲自然環境保全・要望書	2018. 12. 20回答

大阪市条例による環境影響評価の動き

一方で、「大阪府条例に基づく環境影響評価」が行われていますので、「ネイチャーおおさか」からは継続して来た生きものの調査結果を踏まえて、色々に対応して来ました。

時期	内容
2022. 02. 09	準備書に係る市長意見
2021. 12. 28	環境影響評価専門委員会・検討結果報告書
2021. 11. 06	ネイチャーおおさか・意見書
2021. 11. 05	ネイチャーおおさか・私たちからの準備書※
2021. 10. 01	博覧会協会・環境影響評価準備書

※私たちからの準備書（正確には「2025年・私たちからの環境影響評価準備書(生物多様性編)第2版」）は、陳述資料として提出しています。

そして、本年2月9日には「**環境影響評価準備書に係る市長意見**」として次ページの様な内容が博覧会協会に対して示されました。

2025年日本国際博覧会環境影響評価準備書に関する市長意見（抜粋）

2025年日本国際博覧会においては、SDGs達成、さらにSDGs+beyondへの飛躍の機会となることをめざし、脱炭素社会の構築や循環型社会の形成、自然との共生などを掲げており、世界の潮流と方向性を同じくするものである。

これらの実現に向けては、世界の英知を結集した先導的技術とともに、来場者一人ひとりの行動変容を促すことによる新たなライフスタイルへの変革、さらに生物多様性の保全が不可欠であり、これらを具体化することにより、新たな社会のあるべき姿を国内外に向けて強く発信することが求められる。

このような視点から、本事業について、事業者が考慮すべき事項を次のとおり取りまとめた。

記

〔動物・生態系〕

夢洲では多様な鳥類が確認されていることから、専門家等の意見を聴取しながら、工事着手までにこれら鳥類の生息・生育環境に配慮した整備内容やスケジュール等のロードマップを作成し、湿地や草地、砂れき地等の多様な環境を保全・創出すること。

〔植物〕

ハマボウ、ホソバノハマアカザ、ウラギクについて、早急に現地の状況を確認した上で、本事業の工事により生息環境への影響が想定される場合は、関係機関と協議の上、環境保全対策を実施すること。

大阪・関西万博の会場配置計画図



出典「2025年日本国際博覧会環境影響評価準備書」

大阪港湾局では、万博で「ウォーターワールド」として予定されている場所の「地盤改良工事」が、**市長意見が無かったかの様に、次ページで示す様に、進められています。**

大阪港湾局によるウォーターワールド予定地の地盤改良工事



市長が博覧会協会に示した意見でロードマップを作成して保全すべきとした環境（図のDとCの場所）を、大阪市が自ら万博の工事着工までに損なう行為を行っている事になります。

住民監査請求の要旨 その1

＜対象となる財務会計上の事実＞

現在進められている夢洲の埋立てに係る費用のうち、**大阪港湾局が実施している夢洲2区部分の2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）ウォーターワールド予定地の埋立て及び地盤固定に関する地盤改良工事**に係る契約行為および経費の執行。

当該工事が実際に行われている事実は現場にて確認（令和4年4月3日、資料1）。事実証明文書については、大阪港湾局から情報提供を受ける予定である。（追加提出：令和4年4月12日、資料3、4）

＜その行為が違法又は不当である理由＞

大阪・関西万博の環境影響評価準備書に関する**市長意見**（令和4年2月9日、資料2）で、この場所は「**工事着手までにこれら鳥類の生息・生育環境に配慮した整備内容やスケジュール等のロードマップを作成し、湿地や草地、砂れき地等の多様な環境を保全・創出すること**」と言及されているが、この**大阪港湾局の地盤改良工事**に係る契約行為および経費の執行によって、万博工事着手前に、この「**動物・生態系**」を埋め損壊して、市長意見に言う「**湿地や草地、砂れき地等の多様な環境を保全**」することを事前に不可能にし、**市長意見の履行を妨害している事になるため、（1）の契約行為および経費の執行は不当である。**

住民監査請求の要旨 その2

＜その結果、大阪市に生じている損害＞

この場所は、**大阪府レッドリスト2014において、生物多様性ホットスポットのAランクに指定されている場所**でもあり、**大阪・関西万博の環境影響評価準備書によって、多様な鳥類が確認されている**。そして、**市長意見によってこの環境を「保全・創出」する事が言及されている**にも関わらず、この環境を**大阪・関西万博工事着手前に損ない**、市長意見にいう「保全」を無意味な言葉としている。本来は、市長意見が出された段階で方針を変更し、市長意見を尊重し実行するための基盤整備に尽力すべきであったにも関わらず、市長意見以前の旧計画のままに行われている「契約行為および経費の執行」自体が**無駄な支出**であり、この「支出金額」と「回復に要する支出金額」の合計が損害である。

＜請求する措置の内容＞

大阪市長は、**当該工事を即時に一時中止**とし、市長意見に基づき**工事方法を検討し直す**こと、および既に破壊された「動物・生態系」の回復に努めること。

「ネイチャーおおさか」からは、これらに対して3月11日に先ず「要望書」を提出して善処する事を求めています。

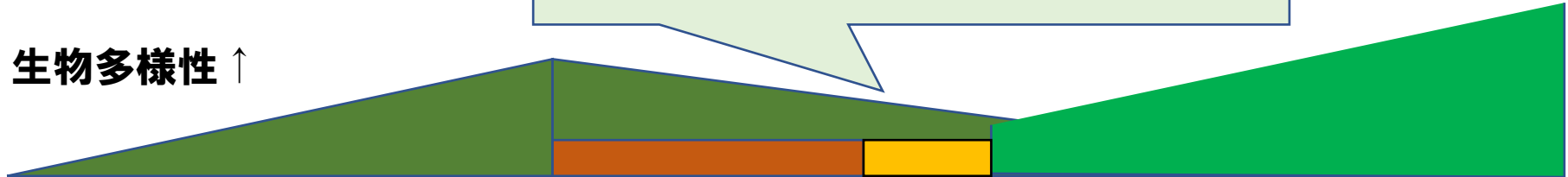
そして、4月7日には更に「住民監査請求」を提出して、この工事が不当であり、工事を中止して、工事内容を見直す事を要求しています。

「動物・生態系」の回復のイメージ

対策案

ここでゼロにしなければ、多くの種が生き残れるし、回復が速い。

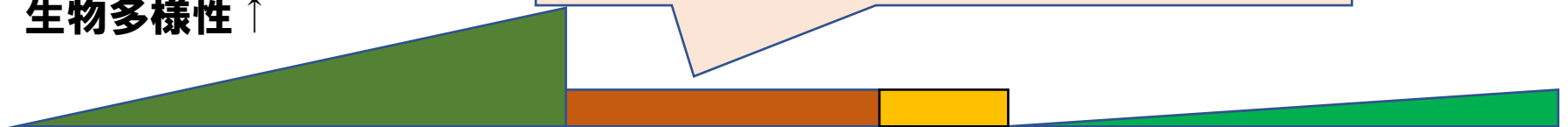
生物多様性 ↑



現行

ここでゼロにしてしまうと種が途絶えて元の姿には戻らないし、回復も遅い。

生物多様性 ↑



埋立期間
埋立仕上げ期間 ↑

万博準備期間

博覧
会

生物多様性を復活する期間

ロードマップ



ご清聴、ありがとうございました。

**公益社団法人・大阪自然環境保全協会
夢洲生きもの調査グループ**

Email: yumeshima@nature.or.jp

Tel: 06-6242-8720(協会)